

びりびり



中新井 純子/作
童心社 N/K/び

かみを びりびり やぶいてみると、おかおになったり、どうぶつになったり。

あっというまに だいへんしん！

楽しいオノマトペで表現されているので、あかちゃんから楽しめますよ。

たべものやさん しりとりたいかい かいさいします



シゲタ サヤカ/著
白泉社 Y/D/た

「たべものやさん しりとりたいかい」はじまるよ。ルールはかんたん！たべものの なまえで しりとりをつづけるだけ。おすしやさん、パンやさん、ケーキやさん・・・ぞくぞくとたべものたちが あつまります。

さあ、ゆうしょうは だれのてに？！

こんにちは！ わたしのえ



はた こうしろう/作
ほるぷ出版 Y/E/こ

まっしろな かみの うえ、じぶんの おもうまみにふでをはしらせる。いろが うまれる。うねっておどる。はねてとんで ころがる！ても あしも つかつて、もっともっと！

えを かくって きもちいい！

おおきなかぼちゃ



エリカ・シルバーマン/作
S.D.シンドラー/絵
おびか ゆうこ/訳
主婦の友社 Y/D/お

あるひ、まじよが ハロウインの おまつりに かぼちゃの パイをつくるため、かぼちゃを とりに きました。

「ぐいっ！ぐぐぐいっ！」と ひっぱりますが、おおきな かぼちゃは びくともしません。ゆうれい、きゅうけつき・・・と、つぎつぎ なかまが やってきますが、だれが やっても だめ。そのとき、どこからともなく コウモリが やってきて・・・。

ふねのとしょかん



いしい つとむ/[作]
文研出版 Y/D/ふ

「おかあさん、いってきます！」

ねずみの きょうだい が ふねの としょかに のりこみます。ふねの なかは ほんが いっぱいで、まるで ほんの もりみたいです。

のりあわせた なかまたちと ほんを たのしんで いると、かみなりが なり、かぜが ふき、おおあめが ふってきて・・・。

おすしやさんに いらっしやい！



い
生きものが
た
食べものになるまで

おかだ だいすけ/文
遠藤 宏/写真
岩崎書店 Y/C/お

さかなが どうやって おすしになるか かんがえたことは あるかな？

このほんには、キンメダイ、アナゴ、イカの おすしになるまでが、しゃしんでくわしくのっているよ。

へえ！って おもうことが いっぱい！

さあ、きみも よーく かんさつしてみよう。